

草津市子ども・子育て支援に関するニーズ調査について

調査目的

本ニーズ調査は、子ども・子育て支援法に基づき策定する市町村子ども・子育て支援事業計画において、利用者のニーズに応じた提供体制の確保に向けて、潜在的な利用希望等も含めた量の見込みの把握・算出を行うことを目的として実施する。なお、計画開始年度を令和7年度とする「(仮称)草津市こども計画」の策定にあたっては、現行の第二期子ども・子育て支援事業計画(計画期間:令和2年度~令和6年度)の後継計画となる「第三期子ども・子育て計画」を包含し、一体的に策定する。

調査内容

○就学前児童

家族の状況、保護者の就労状況、育児休業制度の利用状況、保育サービスの利用時間・種類、今後の利用意向、子育てに対する意識 等

○小学生児童

家族の状況、保護者の就労状況、放課後の居場所を提供する事業の利用状況、今後の利用希望 等

調査対象者

草津市内にお住まいの就学前児童または小学生児童がいる保護者の方を対象に、以下の人数を無作為に抽出。

- ・ 就学前児童の保護者 2,000人
- ・ 小学生児童の保護者 1,000人

調査方法

郵送で調査票を配布し、郵送またはWEBによる回収を実施。

アンケートの活用方法

調査は無記名で実施し、個人を特定せず、統計的に処理します。
計画の基礎資料としてのみ活用し、他の目的に利用されることはありません。

◆活用の例

- ・ 幼稚園や保育所（園）、認定こども園等の適正な実施計画の検討
- ・ 草津市民のニーズに沿った、よりよいサービスの提供

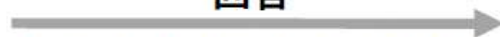
子育て家庭



調査票を送付

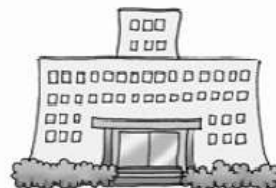


回答



子育て家庭の子育て支援の
利用状況や利用希望等を把握

草津市



草津市子ども・子育て会議



子ども・子育て支援事業計画
を策定



計画に基づいて整備



子育て支援の充実へ



(参考)調査結果からのニーズ算出イメージ

① ニーズ調査の結果から、現在の状況をタイプ別に分類し、集計する

	現在		潜在	
	実数	割合	実数	割合
タイプA ひとり親				
タイプB フルタイム×フルタイム				
タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下宿時間~120時間の一部)				
タイプC' フルタイム×パートタイム (下宿時間未満+下宿時間~120時間の一部)				
タイプD 専業主婦 (夫)				
タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下宿時間~120時間の一部)				
タイプE' パート×パート (いずれかが下宿時間未満+下宿時間~120時間の一部)				
タイプF 無職×無職				
全体				

- ・タイプAひとり親は単独集計、タイプB~タイプFはクロス集計する
- ・タイプA~タイプFをそれぞれ、年齢区分で集計 (0歳、1歳、2歳、3歳以上)

父親	母親	1. フルタイム就労 2. 育児・介護休業中	3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中			5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない
			120時間以上	120時間未満 下宿時間以上	下宿時間未満	
1. フルタイム就労 2. 育児・介護休業中		タイプB	タイプC	タイプC'		
3. パートタイム就労 4. 育児・介護休業中	120時間以上	タイプC	タイプE		タイプD	
	120時間未満 下宿時間以上			タイプE'		
	下宿時間未満	タイプC'				
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない			タイプD		タイプF	

② ニーズ調査から、今後の就労意向 (潜在的な就労意向) を把握する

保護者の就労状況は、育児の状況に応じて変わりやすいと考えられるため、ニーズ調査結果から、近い将来の潜在的な就労意向を把握する

例) 現在は「フルタイム就労」と「就労していない方・就労したことがない方」で、今後、パートタイム就労の意向がある
 → <現在> タイプD → <今後 (潜在的意向)> タイプC

例) 現在、「フルタイム就労」と「パートタイム就労」で、今後、両親とも「フルタイム就労」の意向がある
 → <現在> タイプC → <今後 (潜在的意向)> タイプB

③ 潜在的な事業の利用意向を算出する

年齢別、タイプ別に、幼稚園・保育園・認定こども園など、今後、どの教育・保育事業を利用したいのか、ニーズ調査結果から算出。(利用意向割合の算出)

④ 将来児童数推計から量の見込みを算出する

計画期間中 (令和7年度~令和11年度) における対象児童数の推計と③で算出した利用意向割合を乗じて、量の見込み (サービスの需要量) を算出。

設問内容については、国の「市町村子ども・子育て支援事業計画における「量の見込み」の算出等のための手引き」や標準調査票に沿った形で、量の見込み（ニーズ）を把握できるよう設計します。

参考）前回、「就学前の保護者向け」19ページ27問、「小学生の保護者向け」14ページ24問）

調査票イメージ

前回実施時 抜粋



就学前のお子さんの保護者の皆様へ
～ご協力をお願い～

皆様には、日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

この調査は、子育て支援等の利用状況やご希望をおうかがいし、新たな計画の策定や今後の施策を検討するため、市内にお住まいの就学前のお子さんの保護者の皆様を対象に無作為に2,000人の方を選ばせていただき、ご協力をお願いすることといたしました。調査の結果については、より子どもが育ちやすい、子育てしやすい環境づくりを進めるため、計画策定に活用させていただきます。

なお、この調査は無記名であり、皆様からのお答えはすべて統計的に処理し、回答者が特定されたり、他の目的に利用されることは一切ございません。調査結果については、市ホームページ等で公表させていただきます。（詳細は1ページにございます。）

この調査の趣旨をご理解いただき、皆様の率直なご意見、ご要望をお寄せくださいますようお願いいたします。

2018年12月

草津市

【ご記入にあたってのお願い】

1. 特別な理由がある場合以外は、**封筒の宛名のお子さんについて**、お子さんの保護者の方がご記入ください。
2. ご回答は、選択肢の番号に○をつけていただく場合と、()内に数字等をご記入いただく場合があります。また、「その他」をお選びいただいた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。
3. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**12月18日（火）までにご返送**ください。切手は不要です。

◆ この調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

草津市 子ども家庭部 子ども子育て推進課 子ども政策係

電話：077-562-7882（直通） FAX：077-561-6780

メールアドレス：kosodate@city.kusatsu.lg.jp



あなたの声が草津市の子育て支援に活かされます

草津市のホームページ <https://www.city.kusatsu.shiga.jp>

ニーズ調査の結果はどこで見ることができますか？



今回のニーズ調査の結果は、市ホームページにて3月頃に公表予定です。また、調査結果は、統計的に処理され、個人が特定されることはありません。安心してお答えください。



※調査結果は下記にて公表予定です。

【草津市ホームページ：「子ども・子育て会議」】

トップページ ▶ 市政情報 ▶ 会議・審議会 ▶ 会議・審議会報告

▶ 子ども・健康・福祉 ▶ 草津市子ども子育て会議

ニーズ調査の結果は、どのように活用されますか？



ニーズ調査の結果等を基に「第2期草津市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

また、草津市の実施する子育て支援をより充実させていくために活用させていただいております。



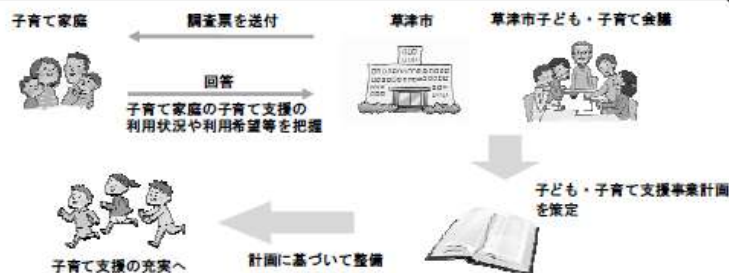
※第1期の計画である「草津市子ども・子育て支援事業計画」は、下記にご覧いただけます。

【草津市ホームページ：「草津市子ども・子育て支援事業計画の見直しを行いました」】

トップページ ▶ 市政情報 ▶ 政策・計画 ▶ 市の計画 ▶ 子ども・健康・福祉

● アンケートにご協力いただくことで…

- ・ 幼稚園や保育所（園）、認定こども園等の適正な実施計画が立てられるようになります。
 - ・ 草津市で必要とされているサービスを把握でき、よりよいサービスを提供できるようになります。
- 例）病児保育や一時預かり等を十分な量確保する、皆様が利用しやすい方法を検討するなど



封筒の宛名のお子さんご家族の状況についておかがいします

問1 宛名のお子さんご家族の様子やお住まいの小学校区等をお答えください。

(1) 宛名のお子さんの生年月をお答えください。(数字を記入)

西暦(20)年()月生まれ

(2) お子さん的人数と末のお子さん(末子)の生年月をお答えください。(数字を記入)

①お子さん的人数:()人 ②末子の生年月:西暦(20)年()月生まれ

(3) この調査にご回答いただく方はどなたですか。(1つに○)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父 5. その他(具体的に)

(4) 宛名のお子さんからみて、同居の家族はどなたですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 母親 2. 父親 3. 祖母 4. 祖父
5. きょうだい 6. その他(具体的に)

(5) ご回答いただく方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

(6) 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にしている方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母
5. その他(具体的に)

(7) ご回答いただく方は、草津市にお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

1. 5年未満 2. 5年以上10年未満
3. 10年以上20年未満 4. 20年以上

(8) 日頃、お子さんを預けられる人はいますか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 日常的に子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
2. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる祖父母等の親族がいる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. 誰もいない

(9) お住まいの小学校区はどこですか。(1つに○) ※小学校区がわからない場合は、町名を15番にご記入ください。

1. 志津小学校区 2. 志津南小学校区 3. 草津小学校区
4. 草津第二小学校区 5. 渋川小学校区 6. 矢倉小学校区
7. 老上小学校区 8. 老上西小学校区 9. 玉川小学校区
10. 南笠東小学校区 11. 山田小学校区 12. 笠縫小学校区
13. 笠縫東小学校区 14. 常盤小学校区 15. ()町・丁目

保護者の就労状況についておかがいします

問2～問3は、父親、母親それぞれの就労状況についてお答えください。

※ひとり親家庭の場合は、母親、または父親のみについてお答えください。

この調査における「フルタイム」「パートタイム」の定義

フルタイム: 1週5日程度・1日8時間程度の就労。 **パートタイム**: 「フルタイム」以外の就労。

※自営業、家業、家族従業者、内職の場合は、就労日数や就労時間の実際に応じて「フルタイム」あるいは「パートタイム」をお選びください。

問2 宛名のお子さんの父親・母親の就労状況について、①現在の状況と、②1年後の希望をお答えください。

※①現在の状況と②1年後の希望が同様の場合、②のご記入は不要です。

		1. フルタイム	2. パートタイム	3. 専業主婦(夫) または就労していない
①現在の就労 ((1)(2)それぞれ 1つに○)	(1)母親	1	2	3
	(2)父親	1	2	3
②1年後の希望 ((1)(2)それぞれ 1つに○)	(1)母親	1	2	3
	(2)父親	1	2	3

問2-1 問2の「①現在の就労」で「1」「2」のいずれかを選択した方(現在就労している方)におかがいします。

以下の①1日の就労時間～④帰宅時刻についてお答えください。

※就労時間等が不規則の場合は、もっとも多い就労パターンについてお答えください。

※時刻は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。

	(1) 母親(数字を記入)	(2) 父親(数字を記入)
①1日の就労時間	1日()時間	1日()時間
②1週当たり就労日数	週()日	週()日
③家を出る時刻	()時()分	()時()分
④帰宅時刻	()時()分	()時()分

問2-2 問2の「②1年後の希望」で「3. 専業主婦(夫)または就労していない」を選択した方におかがいします。

1年後以降の希望についてお答えください。

(1) 母親(1つに○)	(2) 父親(1つに○)
1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)	1. 子育てや家事等に専念したい (就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが()歳 になった頃に就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが()歳 になった頃に就労したい

前回から追加・変更を行う主な設問について

前回調査			追加・変更案	
問番号	設問内容	選択肢	設問内容	選択肢
	保護者の就労状況についておかがいします。			
問2 (1) (2)	宛名のお子さんの父親・母親の就労状況について、①現在の状況と、②1年後の希望をお答えください。 (1) 母親 (2) 父親 ①現在の状況	1. フルタイム 2. パートタイム 3. 専業主婦(夫)または就労していない	宛名のお子さんの父親・母親の就労状況について、現在の状況をお答えください。 (1) 母親 (2) 父親	1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど 3. 専業主婦(夫)または就労していない
	②1年後の希望	1. フルタイム 2. パートタイム 3. 専業主婦(夫)または就労していない	以下に続く追加設問(案)に内包	
			問2で「1」または「2」を選択した方におかがいします。 就労している方は、現在、産休・育休・介護休業中ですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) (1) 母親 (2) 父親	1. 産休・育休・介護休業中である 2. 産休・育休・介護休業中ではない
			問2で「2. パート・アルバイトなど」を選択した方におかがいします。 パート・アルバイトなどからフルタイムへの転換希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) (1) 母親 (2) 父親	1. フルタイムへ転換したい(実現の見込みあり) 2. フルタイムへ転換したい(実現の見込みなし) 3. パート・アルバイトなどを続けたい 4. 仕事を辞めて、子育てや家事に専念したい
問2-2	問2の「②1年後の希望」で「3. 専業主婦(夫)または就労していない」を選択した方におかがいします。 1年後以降の希望についてお答えください。 (1) 母親 (2) 父親	1. 子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい	問2で「3. 専業主婦(夫)または就労していない」を選択した方におかがいします。 就労したいという希望はありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) (1) 母親 (2) 父親	1. 子育てや家事等に専念したい(就労の予定はない) 2. 1年より先、一番下の子どもが()歳になった頃に就労したい 3. 1年以内に就労したい
			上記の間で「2」または「3」を選択した方におかがいします。 希望する就労形態はどれですか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○) (1) 母親 (2) 父親	1. フルタイム 2. パート・アルバイトなど
			希望する就労形態について、①1週あたりの「就労日数」、②1日あたりの「就労時間」をすべてご記入ください。(枠内に数字で記入、数字は一律に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入) (1) 母親 (2) 父親	
			①1週あたりの就労日数	() 日
			②1日あたりの就労時間	() 時間
問3	宛名のお子さん生まれた時、育児休業を取得しましたか。(1) 母親(1つに○) (2) 父親(1つに○)	1. 育児休業を取得せず、働き続けている 2. 育児休業取得後、職場に復帰した 3. 現在も育児休業中である 4. 育児休業中に退職した 5. 出産を機に退職した 6. 出産以前から働いていなかった		1. 育児休業を取得しなかった 2. 育児休業取得後、職場に復帰した 3. 現在も育児休業中である 4. 育児休業中に退職した 5. 出産を機に退職した 6. 出産以前から働いていなかった
			問3で「1. 育児休業を取得しなかった」を選択した方におかがいします。 宛名のお子さん生まれた時、育児休業を取得しなかった理由を、以下の選択肢からご記入ください。(それぞれ、あてはまる番号すべてを、以下の記入欄に記入) (1) 母親 (2) 父親	1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった 2. 仕事が忙しかった 3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった 4. 仕事に戻るのが難しそうだった 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる 7. 保育所(園)などに預けることができた 8. 配偶者が育児休業制度を利用した 9. 配偶者が無職、祖父母などの親族に見てもらえるなど、制度を利用する必要がなかった 10. 子育てや家事に専念するため退職した 11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった 13. 育児休業を取得できることを知らなかった 14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した 15. その他()

【設問設定の追加・変更案】

今後の就労の希望について、就労の開始時期や就労形態の設問を細分化し、より正確な情報を把握できるようにする。

また、育児休暇の取得状況等について、現況を把握するための設問を設定する。

前回から追加・変更を行う主な設問について

前回調査			追加・変更案	
問番号	設問内容	選択肢	設問内容	選択肢
	一時預かり等の利用についておうかがいします			
問10 ①	宛名のお子さんについて、保護者の用事(私用・保護者や家族の通院や病氣・不定期の就労等)により、不定期に利用しているサービスはありますか。 ①利用しているサービス(あてはまる番号すべてに○)	1. 認可保育所(園)での一時預かり(私用等理由を問わずに認可保育所(園)で一時的に子どもを保育するサービス) 2. 認可外保育所(園)での一時預かり 3. 幼稚園の預かり保育(通常の就園時間を延長して預かるサービスのうち不定期に利用する場合のみ) 4. ファミリー・サポート・センター(地域住民が子どもを預かるサービス) 5. ベビーシッター 6. その他(具体的に) 7. 利用していない		
問10 ②	②日数(年間)(数字を記入)	①の選択肢それぞれに対して()日		
問11 ①	宛名のお子さんについて、保護者の用事(私用・保護者や家族の通院や病氣・不定期の就労等)の際に、問10のようなサービスを利用したいと思いますか。 ①利用希望の有無(1つに○)	1. 利用したい 2. 利用する必要はない		
問11 ②	②利用理由(あてはまる番号すべてに○)	1. 私用(買物、子どもや親の習い事等)、リフレッシュ目的 2. 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等 3. 不定期の就労 4. その他(具体的に)		
問11 ③	③日数(年間)(数字を記入)	②の選択肢それぞれに対して()日		
			問11①で「1. 利用したい」を選択した方におうかがいします。私用、親の通院、不定期の就労などの目的でお子さんを預ける場合、どの事業形態が望ましいと思われるですか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 大規模施設で子どもを保育する事業(例:幼稚園・保育所など) 2. 小規模施設で子どもを保育する事業(例:地域子育て支援拠点など) 3. 地域住民などが子育て家庭などの近くの場所で保育する事業(例:ファミリー・サポート・センターなど) 4. その他()
問12 ①	この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣等)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。 ①泊りがけで家族以外に預けたこと(1つに○)	1. あった 2. なかった		
問12 ②	②1年間の対処方法(あてはまる番号すべてに○)	1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった 2. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した 3. 2. 以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した 4. 仕方なく子どもを同行させた 5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 6. その他(具体的に)		
問12 ③	③日数(年間)(数字を記入)	②の選択肢それぞれに対して()日		②の選択肢それぞれに対して()泊
			問12②で「1. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」を選択した方におうかがいします。親族、友人・知人に見てもらった場合の困難度はどの程度でしたか。(あてはまる番号1つに○)	1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない
			保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など)により、あて名のお子さんを家族以外に泊りがけで見てもらった必要がある時に、短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用したいですか。(あてはまる番号1つに○)	1. 利用したい 2. 利用する必要はない
			「1. 利用したい」を選択した方におうかがいします。保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病氣など)により、①短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用する目的と、②目的別に利用したい泊数(年間)をすべてご記入ください。 ①短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用する目的(あてはまる番号すべてに○) ②目的別に利用したい泊数(年間)	1. 冠婚葬祭 2. 保護者や家族の育児疲れ・不安 3. 保護者や家族の病氣 4. その他()
				①の選択肢それぞれに対して()泊

【設問設定の追加・変更案】

一時預かり等への潜在的なニーズをより詳細に把握するために、親族、友人・知人をお願いすることへの難易度に関する設問を追加する。

また、ショートステイのニーズを把握するための項目を追加する。

前回から追加・変更を行う主な設問について

前回調査			追加・変更案	
問番号	設問内容	選択肢	設問内容	選択肢
	病気の際の対応についておうかがいします (平日に幼稚園や保育所(園)、認定こども園等を利用する方のみ)			
問13	問5で平日に幼稚園や保育所(園)、認定こども園等を「1. 利用している」を選択した方におうかがいします。利用していない方は、問14へお進みください。この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガのために問5-1で選択した教育・保育サービスが利用できなかったことはありませんか。(1つに○)	1. あった ⇒問13-1へ 2. なかった ⇒問14へ		
問13-1①	問13で「1. あった」を選択した方におうかがいします。この1年間にとった対処方法と、日数をお答えください。 ※半日程度の場合も1日とカウントします。 ①1年間の対処方法(あてはまる番号すべてに○)	1. 父親が仕事等を休んだ 2. 母親が仕事等を休んだ 3. (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった 4. 父親または母親のうち就労していない方が子どもをみた 5. 病児・病後児保育を利用した 6. ベビーシッターを利用した 7. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた 8. その他(具体的に)		
問13-1②	②日数(年間)(数字を記入)	①の選択肢それぞれに対して()日		
問13-2	問13-1で「1」「2」を選択した方におうかがいします。仕事等を休まずに対処することもできた場合、どのように対処したかったですか。(もっとも考えに近いもの1つに○)	1. いずれにしろ父親か母親が仕事を休んで対処した ⇒問13-3へ 2. 親族・知人に子どもをみてもらいたかった ⇒問13-3へ 3. ベビーシッターを利用したかった 4. ファミリー・サポート・センターを利用したかった 5. 病児・病後児保育を利用したかった 6. その他(具体的に)		1. いずれにしろ父親か母親が仕事を休んで対処した ⇒問13-3へ 2. 親族・知人に子どもをみてもらいたかった ⇒問13-3へ 3. 何らかのサービス・事業を利用したかった(例:ベビーシッター、病児・病後児保育施設など) 4. その他(具体的に)
			問13-1で「1」「2」を選択した方におうかがいします。母親または父親が休んだ際、「できれば病児・病後児のための保育施設などを利用したい」と思いましたか。(あてはまる番号1つに○)	1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った 2. 利用したいとは思わなかった
			「1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」を選択した方におうかがいします。病児・病後児のための保育施設などを何日間利用したいと思いましたか。	問13-1②の「1」と「2」の合計日数のうち、()日間利用したい
			「1. 「できれば病児・病後児保育施設などを利用したい」と思った」を選択した方におうかがいします。あて名のお子さんが病気やケガで、通常の教育・保育事業を利用できない時に、病児・病後児のための保育施設などへ預ける場合、どの事業形態が望ましいと思えますか。(あてはまる番号すべてに○)	1. 他の施設(例:幼稚園、保育所など)に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民などが子育て家庭などの身近な場所で保育する事業 4. その他()

【設問設定の追加・変更案】

病児・病後児保育施設のニーズをより詳細に把握するため、設問を追加する。

また、子どもが病気になった際に預ける施設の事業形態についてもニーズを把握するための設問を追加する。

前回から追加・変更を行う主な設問について

前回調査			追加・変更案	
問番号	設問内容	選択肢	設問内容	選択肢
	宛名のお子さんが小学校就学後の放課後の過ごし方についておうかがいします。			
問15①	宛名のお子さんについて、小学校へ入学された後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。 ①過ごさせたい場所（あてはまる番号すべてに○）	1. 自宅 2. 祖父母宅や友人・知人宅 3. 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等） 4. 児童育成クラブ 5. 放課後等デイサービス 6. ファミリー・サポート・センター 7. その他（公民館、公園等）		
問15②	②希望日数（数字を記入） 低学年（1～3年生） 高学年（4～6年生）	①の選択肢それぞれに対して 低学年（1～3年生） 週（ ）日位 高学年（4～6年生） 週（ ）日位		
			問15①で「5. 児童育成クラブ」を選択した方におうかがいします。 児童育成クラブを利用したい時間帯をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入） (1) 小学校低学年 (2) 小学校高学年	利用したい時間帯（下校時から（ ）時まで）
問15-1（1）	「児童育成クラブ」の利用したい曜日等をお答えください。また、平日の利用を希望する時間も（ ）内に数字をご記入ください。（それぞれにあてはまる番号すべてに○） (1) 低学年（1～3年）での利用希望	1. 平日（下校時から（ ）時まで） 2. 土曜日 3. 日曜日・祝日 4. 長期休暇	問15①で「5. 児童育成クラブ」を選択した方におうかがいします。 宛名のお子さんについて、(1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、児童育成クラブを利用したいですか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○） (1) 土曜日 (2) 日曜日・祝日	1. 小学校低学年の間は利用したい 2. 小学校高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない
問15-1（2）	(2) 高学年（4～6年）での利用希望	1. 平日（下校時から（ ）時まで） 2. 土曜日 3. 日曜日・祝日 4. 長期休暇	上記の間で「1」または「2」を選択した方におうかがいします。 (1) 土曜日、(2) 日曜日・祝日に、児童育成クラブを利用したい時間帯をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入） (1) 土曜日 (2) 日曜日・祝日	利用したい時間帯（（ ）時～（ ）時）
			宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、児童育成クラブを利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）	1. 小学校低学年の間は利用したい 2. 小学校高学年になっても利用したい 3. 利用する必要はない
			上記の間で、「1」または「2」を選択した方におうかがいします。 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中に、児童育成クラブを利用したい時間帯をご記入ください。（枠内に数字で記入、数字は一枠に一字、必ず「09時」「18時」のように24時間表記で記入）	利用したい時間帯（（ ）時～（ ）時）

【設問設定の追加・変更案】

児童育成クラブへのニーズについて、土曜日、日曜日・祝日、長期休暇の利用意向を詳細に把握するため、利用したい時間帯を聞く設問を追加する。

前回調査			追加・変更案	
問番号	設問内容	選択肢	設問内容	選択肢
			令和8年度を目途に導入予定の「こども誰でも通園制度（仮称）」を知っていますか。（あてはまる番号1つに○） ※こども誰でも通園制度（仮称）・・・就労要件を問わず、一定の利用可能時間の枠内で、柔軟に利用できる新たな通園制度	1. 知っている 2. 知らない
			令和8年度を目途に導入予定の「こども誰でも通園制度（仮称）」を利用したいですか。（あてはまる番号1つに○）	1. 利用したい 2. どちらかといえば利用したい 3. どちらかといえば利用したくない 4. 利用したくない
			<利用希望の頻度や時間帯（月10時間以内で24時間制で回答）> 1. 月1回利用したい（ : : ）～（ : : ） 2. 月2回定期的に利用したい（ : : ）～（ : : ） 3. 毎週1回定期的に利用したい（ : : ）～（ : : ） 4. 曜日や時間を固定せず、月10時間の範囲で自由に利用したい（ : : ）～（ : : ）	

【設問設定の追加・変更案】

令和7年度以降に導入される予定の、「こども誰でも通園制度（仮称）」について、利用ニーズを把握するための設問を追加する。